



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒

<No. 4> 令和8年7月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13
電話 048-861-3203 (学校)
866-5789 (さやか相談室)

<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

先輩論

校長 小倉 弘一

学校総合体育大会が終わると、多くの運動部で3年生が引退し、2年生に世代交代が行われる。

私が教諭だった頃、長らく剣道部の顧問^{にな}を担っていた。

私は2, 3年生に対して、初めて(新たに)後輩をもつ4月の後半や、世代交代があるこの時期に、決まって次の10か条の「先輩論」を説諭していた。



6/12(金)に体育祭を実施しました

- 第1条 後輩が「自分にはとてもできない」と思えることを、先輩がサラリとやってのけたときに、後輩は先輩を尊敬する。(技術面、規律面、自主自立について)
- 第2条 第一印象で尊敬させることができれば、必ず後輩はついてくる。
- 第3条 最初の1か月が第一印象作りの勝負。上級生自らが時間を守る。1年生よりも率先して、且つ大きな声であいさつや返事をする。部活動に一生懸命に取り組む。
- 第4条 後輩を「生意気だ」というのは、自分が年下の後輩と同じ次元になっているということ。
- 第5条 後輩は先輩の言うとおりに動くのではなく、先輩のやるとおりに真似をするものだ。
- 第6条 後輩にいきなり規律正しいあいさつや敬語を求めるのは無理だ。まずは先輩自ら率先して後輩にあいさつをし、態度で見本を見せるべきである。
- 第7条 年下である後輩に「かわいい後輩像」を求める以前に、年上である自分が「理想的な先輩像」になることを目指せ。
- 第8条 2年生は「先輩1年生」である。後輩の指導を通して自分自身も大きく成長すること。
- 第9条 愛情があればこそ優しくもなれる。愛情があればこそ厳しくもなれる。愛情に裏打ちされた言動には説得力がある。
- 第10条 後輩をもつことはチャンスだ。後輩の存在によって学び、人として一回り大きくなろう。

生徒にとって部活動では先輩や後輩といった異年齢交流があり、それが成長の機会になることが多い。節目を迎えた上級生が、大きく成長する様子を刮目^{かつもく}して見守っていきたい。

全ての学年の生徒が読むであろう学校だよりに、あえて「先輩論」を載せました。全ての生徒が、今の自分の立場で異年齢交流の意義について考えてほしいと思います。

本校学校ホームページの「今週の1枚」コーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。※ユーザー名とパスワードは、スクリレでお知らせします。

